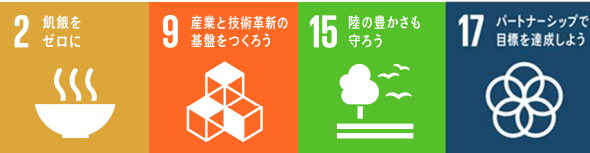


# 農業農村整備事業の推進



- 食料を安定供給し、農村の暮らしを守るため、農業生産基盤整備を推進し、中山間地域等を守ることにより、農業・農村を健全な形で次世代へ継承する。

【提案・要望先】財務省、農林水産省

## 1. 提案・要望内容

### (1) 農業農村整備事業の関係予算の拡大

- 農業農村整備事業関係予算の令和6年度当初予算枠の拡大および「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の継続かつ十分な予算の確保
- 地域の共同活動維持に不可欠な、中山間地域等直接支払および多面的機能支払交付金の十分な予算の確保
- 電力料金高騰の影響が特に大きい、本県の土地改良区に対する継続的な支援

### (2) 国営事業の着実な推進

- 国営土地改良事業「近江東部地区」「東近江地区」の着実な推進

## 2. 提案・要望の理由

### (1) 農業農村整備事業の関係予算の拡大

- 農業者の減少や高齢化が進む中、スマート農業の実装化を後押しするほ場の大区画化や汎用化により担い手への農地集積・集約化をより進める必要がある。一方、ため池や干拓施設の豪雨・耐震化対策や、農業水利施設の長寿命化等、災害の未然防止を図るため、当初予算枠の拡大と、防災・減災、国土強靱化対策の継続かつ十分な予算確保が必要。
- 農村、特に中山間地域において、健全な農業生産を維持するため、本県で効果的に実施されている共同活動を下支えする、中山間地域等直接支払および多面的機能支払交付金の十分な予算の確保が必要。
- 4割を超える農地が琵琶湖等からの電力を利用した揚水に依存している本県では、電力料金の高止まりが土地改良区の運営に与える影響が特に大きく、継続的な支援が必要。

### (2) 国営事業の着実な推進

- 永源寺ダムの堆砂量の急増による機能低下は喫緊の課題であり、国営総合農地防災事業「近江東部地区」の全体実施設計の着実な推進による早期の事業着手が必要。  
ほ場の大区画化等を契機に、高収益作物の導入やスマート農業の実装化を目指す、国営農地再編整備事業「東近江地区」は、本県農業の次世代モデルとなるものであり、全体実施設計に移行し、早期の事業着手を目指す必要がある。

